



幼児教育センターだより

富山県教育委員会小中学校課

第2回富山県幼児教育推進連絡協議会



【実施日】11月13日(月)

【場 所】県民会館

【参加者】養成機関、市町村、幼児教育関係各種団体、小学校、保護者等の代表者

【内 容】令和5年度幼児教育センターの取組、富山県幼児教育推進連絡協議会専門部会についての報告

令和6年度幼児教育センターの取組についての協議

【若手保育士の育成について】

△2、3年目の保育者は不安が大きい。

○保育者要請の段階から2、3年目の保育者を支える取組が必要。

○訪問研修の場でも若手保育士を支える視点をもつ。

○幼児教育推進リーダーのプロジェクトチームの活用を考える。



【幼児教育・小学校教育の接続について】

△小学校における授業改善のヒントが幼児教育にあるのではないかな。

△幼児教育と小学校教育に関わる大人同士の意識改革が必要。

○例えば学校訪問の機会を生かすなど、双方に参観の機会を設け、関係づくりを進めていく。

【特別委員 白梅学園大学名誉教授 無藤 隆 先生のお話より】

- ・保育者が自分の保育に自信をもち、保育していくことが大切。悩みは誰にでもある。一緒に考えてくれる人がいることでその悩みが軽減される。そのような取組が求められている。
- ・人手不足については、子育て等で離職する保育者とのつながりを持ち続けることも大切。
- ・幼小接続については、今一度学力の基盤を問い直してみる。「学ぶことは楽しい」という子どもの実感が大切。
- ・保育の質については、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿（10の姿）」が日々のいろいろな活動の中で、多様で、豊かに、高い頻度で表れているかをチェックしていくことが大切。



第2回推進リーダーフォローアップ研修会 兼 第4回幼児教育アドバイザー研修会



【期 日】11月7日(火)

【参加者】幼児教育アドバイザー7名、推進リーダーⅠ期生15名、
推進リーダーⅢ期生15名(推進リーダーⅡ期生、
育成研修受講者希望者 オンライン)

【内 容】

講義①「特別な配慮を要する子どもへの支援について ～訪問研修の現場から～」

西部教育事務所 小中学校巡回指導員 長井 久恵先生

- ・幼児教育施設訪問研修で出会った気になる子どもの具体的な姿から、
「必要な支援が対象の子どもに届いているかという視点をもつこと」
「特別な配慮が必要な子どもだけでなく、全ての子どもに自己選択と自己決定の
場を保証すること」
「個別の指導計画を作成し、活用し、学校につなぐこと」等が大切である。



講義②「乳児教育」

ひらきこども園 園長 幼児教育アドバイザー 岡本 紀子先生

- ・0歳の子どもでも、じっと見つめることから「人と関わる力」「ものに関わる力」
「身体の育ち」を育てている。0歳児でも自ら考える力をもち、学んでいる。
だからこそ、子どもと同じ方向を見て、喜びや感動を分かち合う大人の存在が
大切である。



お知らせ

令和6年度幼児教育施設訪問研
修の申込みを受け付けていま
す。

【申込み締め切り】

12月28日(木)

【申込み方法】

QRコードから
入力フォームへ



光って不思議
(懐中電灯)



園庭に足湯

12月18日(月)開催予定の
「令和5年度幼児教育施設訪問
研修からの学びを語る会」等も
参考にいただき、気軽に申
し込んでください。
お待ちしております。



お化け屋敷の黒い壁
製作中

訪問研修の
様子から

